細江カトリック教会だより　10月

〒750-0016　下関市細江町 1-9-15
083-222-2294　083-222-0970

広島教区テーマ；平和の使徒となろう

チャレンジ新しい福音宣教　～わたしをお使いください～

―家庭へのチャレンジ―

「子どもたちを来させなさい」

ようやく秋らしい天候になって、私の部屋には毎日のように、運動会の練習をしている幼稚園の子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

下関天使幼稚園は、今年度から「子ども・子育て新制度」にのっとり、幼稚園型の認定子ども園になりました。幼稚園の通常の教育事業に加えて、保育を必要とする三歳以上の子どもたちを預かっています。開園時間が長くなり、長期の休みもなくなり、教職員の仕事が増えましたから、当初はどうなることかと心配でしたが、さいわい皆で団結して新しいチャレンジに取り組むことができ、何とか最初の半年を乗り切りました。来年度の園児募集ではすでにたくさんの応募者がいて、嬉しい悲鳴をあげています。主のお導きと皆様のご支援のおかげと思います。

私は下関に赴任するまで、幼稚園の仕事にかかわったことはなく、宣教上の意義も知りませんでした。しかし、いきなり園長にさせられて四苦八苦するうちに、主が弟子たちにおっしゃった、「子どもたちをわたしのところに来させなさい」（マルコ 10・14）という言葉が少しずつ理解できるようになりました。神さまは一人ひとりの子どもを作り、その心の奥底にご自分に向かう憧れのようなものを植えつけておられます。妨げさえおかなければ、子どもたちは大人以上に鋭敏に、直感的に神さまのことを理解します。そして、理解すると、素直に喜びます。

人間の宗教的な情緒は、０才から６才までの間に決まると言われます。物質主義の横行する日本の社会ですが、やはり神さまは一人ひとりの人間をお造りになり、一人ひとりに呼びかけておられるのです。教会の内外を問わず、一人でも多くの人が神さまの呼びかけに目覚めるように手助けすること、それは主イエスの弟子である私たちの使命です。そして、幼稚園はそのための豊かな土壌です。

およそ教会がそれぞれの地域で人々に福音を告げる使命をもつものなら、幼稚園の運営は宣教活動の大切な一翼です。このことを改めて認識して、皆で支えましょう。

幼児教育の専門家であったモンテッソーリは、子どもの筋肉の発達が知性と心の成長に密接に結ばれていることを熟知していました。運動の練習を通して、体力や技術だけでなく、友だちと助けあう心や困難を乗り越える意志を養います。運動会は、ただ当日だけでなく、それを目指して準備する過程のすべてが、子どもたちの成長の機会です。

今日も子どもたちは一生懸命にがんばっています。子どもたちと保護者たちと教職員が一緒になって作りあげる手作りの運動会が、子どもたちの新しい成長の一歩とな

りますように。それが地域社会にとって、神さまに向かう心の芽生えとなりますように。

百瀨　文晃　神父

挿絵　ルカス・クラナハ

「子どもたちを祝福するキリスト」

シリーズ 地区だより

家庭へのチャレンジ　Ⅵ

本町地区

2014、15年度、2年続けて本町地区は地区長を選出できませんでした。

代役に連絡員を置き、典礼、掃除、行事等々を何とかこなしているのですが、少々肩身の狭い、申し訳無い気持ちでいるのも事実です。

地区会もめったに無く、あったとしても只、典礼当番を決め、行事の役割についての説明をするだけの地区会は余りにも淋しいという気がしています。

その昔、地区会は各家庭持ち回りで司祭を囲んで開かれていました。

主のみ言葉を聞き、共にロザリオの祈りを唱え、持ち寄ったお茶菓子を摘(つま)み乍らの談笑のひと時、本音で語り合うことの出来たあの頃が懐かしく想い出されます。

比較的長く、家庭での地区会を開いてこられた北部地区のおひとりがおっしゃいました。「お互いをよく知り合うことで絆が深くなり、それが折々の協力に繋がった。」と。

「時代が違う」「時間が無い」「必要性が無い」「現状理解をしていない」等々のご意見が噴出するのは充分承知していますが、敢えて口に致します。

「地区会はやはり近隣に住む信者同士にとって大切にしなければならない集まりではないか。」と。各地区での信者の結びつきの深さ、強さが細江共同体全体の力となると私は信じています。

多少御座なりになっている私自身の反省を込めての提案ですが、地区制、地区会の在り方、ひいては共同体の組織全体についても皆で考えていければと希望する次第です。

桝谷　紀子

社会教説　9/13（日）

あきらめない！平和の創造を！
―今の状況は何処へ向かうのか！―
キリスト者の使命は？

今回は、済州島の平和大会に参加された Sr.山本の報告会から始まりました。

神様の創造の技である美しい場所、江汀で米軍の海軍基地建設が進んでいる。クロンビという美しい一枚岩を跡形も無く破壊して。2007年から反対運動は続いているが、数ヶ月先には基地の運用間近。にも関わらず熱い思いを持ち続け、自分たちの思いを伝え続けている人々がいる。これは辺野古の米軍基地建設の状況に近く、何年か先の沖縄の状態かもしれない。諦めなければ必ずいつか何かが変わっていく日が来る！

また百礼という身体を使った祈りを体験し、抑圧された人たちというのは、押さえつけられ、横に広がり繋がっていくということ、「弱い時にこそ強い」というパウロの言葉にも通じる連帯のエネルギーを身を以て感じられたそうです。

林神父様もいつも通り全身で表現しながら、お話してくださいました。

前教皇ベネディクト 16 世「信徒の政治的

な活動は社会に対する愛である」
フランシスコ教皇「信徒の政治参加は道徳的な義務である」「社会に対して不正義が行われる時、傍観者であってはならない」。これは教会の教えである。王（権力者・・・経済力、政治力、軍事力を持っている人）たちの前に立って自分の福音を明かさなければならない。そのためには無関心ではなく、それぞれの方法で今の政治がやろうとしていることに向き合わなければならない。私たちには政治的責任がある。イザヤ書に「聞こえない人の耳が開く。」「口の利けなかった人が喜び歌う」とある。この町の中で、自分が行くことができ、情報を聞くことのできる場所がどこにあるのか探してみよう。正しいことを述べたいという動きはたくさんある。耳を開いて聞いてみよう。いろいろなことに関心を持ち、口を開いて発言をしよう。反対意見があっていい。発言と発言が対話する。それがコミュニケーション。政治に対する関わりは、神の国（想像上の未来ではなく今、神の愛が達している所）を実現する関わり。神の国はあなたがたの内にある。すでに始まっている。・・・
今、若者が政治に関心を持ち、立ち上がっています。国会前に行くことは難しいですが、私も自分の出来る形で発信していきます。

林 裕子

✶　熱っぽく語る林神父に聞き入る。

の

テゼの祈り
集い

9/18（金）

テゼ共同体については、バプテストからカトリックに改宗した梅野君から聞いて関心がありましたので、今回是非参加したいと思いました。

集いで歌った歌のメロディーは忘れ、集いの進行がどのような順序であったかも完全には思い出すことはできませんが、マタイによる福音の「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる。」の箇所を見た時、意外だったことを覚えています。

しかし、神さまの前に自分を置いて、この福音を思いめぐらしたとき、愛の業に徹することを改めて意識しました。

もう一つ、意外だったのは、共同祈願の機会が参加者にも与えられたことでした。

子どもたちのために祈ろうと思い、祈りのことばを考え始めました。しかし、なかなか整いません。そのうちにちょっと待てよ、自分はこの教会に入ってまだ日が浅い……、時間だけが過ぎ、沈黙で終わってしまったとき、普段、子どもたちのために、と言っているのに祈ることばを持っていなかった、ああ、祈れなかったと心が騒ぎました。しかし、共同祈願の終わりの「ことばにならなかった祈り……」を聞いて神さまに届いたと心は落ち着きました。

帰宅して、祈りのことばを考えました。

この原稿を書くにあたって、記録していたはずだと思い、ノートを見ましたが記録はありませんでした。そのときの記憶をたどりながら、次に機会がありましたら、「すべてのおとながすべての子どもたちの生命への畏敬をもって教え育てることができますように」と祈りたいと思っています。

三村 隆治

✶夜のとばりが下りて・・テゼの祈りは続く。

ルーテル教会、彦島日本基督教団の牧師さまも参加。

敬老祝福　9/20（日）

✶神父さまの祝福を受ける敬老の方々

✶細江地区のおもてなし

～　みんなの心が一つになって
愛の輪を広げよう～

日時◇　10月25日（日）
ミサ後（12時～14時）

会場◇　細江カトリック教会
ホール、カトリックセンター
◇◇催し物◇◇
遊休品コーナー　お楽しみ（ペトロ券）
パウロ書院（聖具、カード、カレンダー）
うどん　焼きそば　焼き鳥　チヂミ
喫茶　餅　その他　カルタ会
モグラたたきゲーム

いらっしゃい～ませ！

典礼研修会　9/21（月）

去る9月21日に山口・天使幼稚園にて典礼研修会が開催され、細江教会から十数名が参加しました。今回の研修の目的は、「ミサ総則」の改訂が行われ、一部変更箇所の先行実施に向けての説明会。具神父様の流暢な日本語と懇切丁寧な解説で、とても分かり易い研修会でした。細江教会は、百瀬神父様の意向で、すでに先取り実施しており、今回の研修はそれの確認の意味合いが強かった。講演のあと各小教区に分れての分かち合いと、その後Q＆Aの時間があり予定された時間を超えて熱心な話し合いがなされました。
今回の改訂で、個人的に強く感じた事は、沈黙（行動的参加として）が求められているという事です。回心の祈りの時と祈願への招き、朗読と説教の後、聖体拝領後の神への賛美など。また、祭儀の外にも、教会堂、香部屋など隣接する場所での沈黙についても強調されています。その他の詳細については、「ローマ・ミサ典礼書の総則」に基づく変更箇所の冊子を熟読し、百瀬神父様を中心に細江教会としての研修会を開催してはどうかと思います（かなりの箇所で、各小教区の裁量に任されている部分もあるので）。

典礼部長；玉井　紘一

10月のお知らせ

☆10日（土）天使幼稚園運動会
☆18日（土）世界宣教の日
　　13：30平和年巡礼ウォーク
☆25日（日）ペトロ祭（バザー）
☆31日（土）幼稚園バザー

（月カレンダーをご覧ください！）